

陳情第43号	受理年月日	令和3年8月12日
付託委員会	教育文化委員会	
件名	特別定額給付金の再度実施を求める意見書の提出について	
要旨	<p>政府は、見えざる敵に対して国民が一致団結して立ち向かおうと、令和2年4月20日に閣議決定した、特別定額給付金を国民に支給した。</p> <p>総務省の統計では、昨年の特別定額給付金は一人10万円で約13兆円と発表されている。また、民間のアンケートでは、消費は3割でほかは貯蓄に回されたとあり、国税庁の民間給与実態統計調査では低成長時代を反映し、給与所得者約5,000万人の給料は、過去10年間一定水準にとどまっている。</p> <p>特別定額給付金を、一人30万円で再実施すれば費用は約39兆円である。また、政府は経済対策をする予定であるが、国民一人一人に行き渡らせることが大切である。</p> <p>国民には約2,000兆円の金融資産がある。政府が救国国債を40兆円発行し、条件は長期、無利子、期限付とし、消化できないときは日本銀行が直接買い入れること。このようなことを実行すれば、国栄えて民滅ぶということは起きない。</p> <p>ついては、令和3年度も特別定額給付金の再度実施を求める意見書を国に提出していただきたい。</p>	